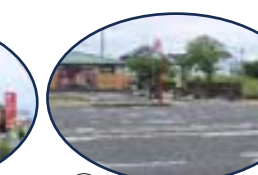
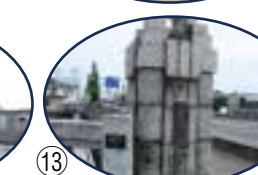


コースNo.86巨勢公園から北西の謎解き歩き

起点
見所
コース概略

巨勢公園 (がばいよかところそつくマップコース33参照)
小さな発見が癒す自然と文化の調和するルート 約5キロ

- ①巨勢公園東の道路を北上
- ②歩道横断し西方向へ
- ③民家の片隅に薬師如来像が語りかける
- ④寛永年間建立の六地藏
- ⑤元忠寺あとの看板
- ⑥巨勢川に出て国道修理田を左、途中の歩道を渡る
- ⑦玄海橋の交差点を渡り水路北の小道を歩く
- ⑧直進突き当たり右折すぐ左折、橋向を左折(南)へ
- ⑨二木大明神
- ⑩そのまま川沿いに南へ、構口橋を渡る
- ⑪牛島構口公園で一休み
- ⑫運が良ければご尊顔を(構口の橋手前)
- ⑬佐賀市景観賞の橋を渡り構口交差点へ
- ⑭交差点そばにまるなか恵比須
- ⑮モラージュの中外、気分に合わせて南館東側へ
- ⑯南小径を南下、最初の横断歩道を右(西)へ
- ⑰小児天満宮
- ⑱⑲び先住宅地を抜け国道333号線に出て、牛島中の交差点を右、北上
- ⑲肥築鉄道高尾駅跡看板(千代田の崎村までの鉄道始発駅)
- ⑳牛島宿交差点对角線を北へ
- ㉑巨勢神社(入り口には巨大なプロペラ)
- ㉒道向こうに参道の名残㉑の交差点を渡ってこの道へ
- ㉓突き当たり左すぐ先に公園、抜けたら真崎輝郷顕彰碑
- ㉔巨勢川に沿って南、橋を渡り右、すぐ左
- ㉕高尾おくらあと
- ㉖長崎街道へ、竈王院の看板を左(北)へ
- ㉗竈王院
- ㉘突き当たり左、三叉路の先右へ公園に



⑱

⑲

⑲

⑲

⑲



巨勢神社の入り口に、巨勢の由来が書いてあります。それによりますと孝徳天皇の御代に、壱岐対馬に侵攻してきた異族退治の勅命を受けて下向しこれを退治した巨勢大連が守護としてこの地にとどまり、荒野を開き良田となし、巨勢の荘としたとあります。入り口に下がっている大きなプロペラは氏子のかたが寄贈されたという説がありますが、ミステリーということで。西の発明王といわれた真崎輝郷翁、三菱鉛筆の創業者真崎仁六翁という近代の偉人を育んだ巨勢の地の豊かさは、こんな昔から作られてきたものなんでしょうね。